



聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 12・13～21

愚かな金持ち

たといたくさんの物を持っていても、人のいのちは、持ち物にはよらないのである。

ルカ 12・15

目標

地上の富ではなく、神に喜ばれる生き方を追い求める。

10月4日（日）

聖書
聖句

ルカ 12・13～21

たといたくさんの物を持っていても、人のいのちは、持ち物にはよらないのである。 15節

「お金さえあれば、わたしのいのちは安全！」とか、「これだけの食料があるのだから、わたしのいのちはずーっと大丈夫」と考える人々は愚かな生き方をしています、と、イエス様が教えて下さいます。「いのち」とは、神様がわたしたちに与えていてくださるものです。「いのち」は神様のみ手の中にあるのですから、おまかせするほかありません。どんなに財産があっても、自分の「いのち」が取り去られてしまうなら、何にもなりませんから。

いの祈り

天のお父様、地上の過ぎゆく富や財産で安心はできません。いのちを支配されるあなたに喜ばれて生きたいです。

10月5日（月）

聖書
聖句

ルカ 12・16～19

たましいよ、おまえには長年分の食糧がたくさんたくわえてある。さあ安心せよ、食べ、飲め、楽しめ。 19節

欲深い心を起こさないようにと、イエス様はたとえ話をしてくださいました。ある金持ちの畑が豊作で、この人は心の中で考えました。「どうしよう、この作物を。そうだ今の倉を取りこわして、もっと大きいものを建てて、そこに全部しまいきこう。そして、私の魂に言おう、たましいよ、もう安心だ、食糧はたっぷりたくわえてあるから、安心して食べ、飲め、楽しめ」と。食べ物さえあれば大丈夫だと思いますか？ただ食べて生きているのではないのですね。

いの祈り

天のお父様、「いのち」についてこの金持ちは少しもわかっていません。物がすべてでないことを覚えたいです。

10月6日（火）

聖書
聖句

ルカ 12・20～21

愚かな者よ、あなたの魂は今夜のうちにでも取り去られるであろう。 20節

「たましいよ、さあ、安心せよ、食べ、飲め、楽しめ」と陽気な心で、たましいに言っていると、その時、神様が言われました、「愚かな者よ、あなたの魂は今夜のうちにでも取り去られるであろう」と！な、な、なんという電撃のみ声（！）でしょう。今夜のうちにでも魂が、つまり「いのち」が取り去られたとしたら、倉に納めて、たくわえている物は一体、誰のものになるのでしよう。自分のことだけ考えないで、「いのち」の与え主、神様を思って生きるべきです。

いの祈り

天のお父様、イエス様のたとえ話がよくわかりました。自分の欲に生きないで、あなたに喜ばれるよう生きます。

10月7日（水）

聖書
聖句

マタイ 6・19～21

盗人らが押し入って盗み出すこと
もない天に、宝をたくわえなさい。
20節

「大切にしまっておいた宝物のような洋服が虫に食われた！」「高いお金を出して買った宝物のような器に、さびがついた！」「あんなにしっかりとタンスの奥にしまっておいたのに、大事な通帳とかが盗まれてしまった！」なんてことがあなたのお家にありませんでしたか？地上に宝をたくわえようとすればこんなことになってしまうのですね。だから、こんな心配の全然ない、天に宝をたくわえるのです。どうすることでしょう？感謝して献金することです。

いの
祈り

天のお父様、天に宝をたくわえていきます。少しずつの献金がどんなにあなたに喜ばれるのかを深く思います。

10月8日（木）

聖書
聖句

マタイ 6・24

あなたがたは、神と富とに兼ね仕えることはできない。
24節

だれでも、ふたりの主人に仕えることは無理な話です。イエス様は、ここでふたりの主人とは、「神」と「富」ですと言われます。「富」という主人に仕えるとなると、心の中はいつでも、どうしたら富をふやせるかということにいっぱいでしょう。金、金、金、物、物、物、物、心の中に神様のことを思うスキ間は少しもありません。そのままだとあの愚かな金持のようになってしまいます。私たちはきょう、心底「神」のみに仕えていく決心をしましょう。

いの
祈り

天のお父様、心配ばかりしなくても、大切な命とからだはしっかりとあなたに守られていることを感謝します。

10月9日（金）

聖書
聖句

マタイ 6・25～32

命は食物にまさり、からだは着物にまさるではないか。
25節

「心配症」の人、いますか？「思いわずらい病」です。命のことで心配します。「何を食ようかな、何を飲もうかな」と。命は食物にまさるものです。空の鳥を見なさい。種をまいたり、刈り入れしたりしなくても天の父がちゃんと養っておられます。「何を着ようか」と、からだのことで心配しなくていいですよ。あの野の花をあれほどにもきれいに装っていただく神様は、あなたにもそうしてください。からだは着物にもまさるものだからです。

いの
祈り

天のお父様、心配ばかりしなくても、大切な命とからだはしっかりとあなたに守られていることを感謝します。

10月10日（土）

聖書
聖句

マタイ 6・33～34

まず神の国と神の義とを求めなさい。そうすれば、これらのものは、すべて添えて与えられるであろう。
33節

そういうわけで、何をまず第一に求めていけばいいかということ、「神の国と神の義」ですね。むずかしいことはありませんよ。小さいわたしたちが「神の国と神の義」を求めるということは、日曜日には、教会学校に行って、神様の言葉を心にたくわえることです。毎日、「子ども聖書日課」で、神様に喜ばれることが何であるのかを知って、その一日をすごすことです。そして、毎日、お祈りをして、神様に喜ばれる一日をすごすことです。

いの
祈り

天のお父様、このようにしてあなたのことを第一にする時、すべての必要なものが与えられる約束を信じます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 16・19～31

死後への備え

彼らにはモーセと預言者とがある。それに聞くがよからう。

ルカ 16・29

目標

死後の裁きの存在を知り、み言葉によって備える者となる。

10月11日(日)

聖書
聖句

ルカ 16・19～3

彼らにはモーセと預言者とがある。それに聞くがよからう。 29節

「人間、死んだらおしまい。消えてなくなるだけさ」と考える人もいます。あなたはどうか？聖書は神様の言葉で、ずーっとそのとおりのことが起っているのです。聖書の言うことに絶対まちがいはないのです。死んでおしまいではなく、天国か、地獄か、そのどちらかで、永遠を過ごすことになるのです。なんておごそかでしょう。行ってからでは遅いのです！この金持のように、人に伝えることもできません。

祈り 天のお父様、人はだれでも死を迎えます。死んだあとどうなるのか、しっかりみ言葉によって備えさせてください。

10月12日(月)

聖書
聖句

ルカ 16・19～21

ある金持がいた。彼は紫の衣や細布を着て、毎日ぜいたくに遊び暮らしていた。 19節

「いいなあ、お金持は！カッコいい高価な服を着て、毎日、好き放題に、食べたり飲んだり、ぜいたくに遊び回れるなんて！」と思いますか？かと思えば、神様、不公平じゃないですか？と言いたくなるかわいそうなラザロの姿。貧乏で全身でき物でおおわれて、そのでき物を犬になめられるなんて！ラザロとは「神はわが助け」という意味の名前で、そんなあわれな姿でしたが神様を信じていた人だったのです。

祈り 天のお父様、人の一生は地上だけではないと思うと、この二人についていろいろ考えさせられてしまいます。

10月13日(火)

聖書
聖句

ルカ 16・22～23

この貧しい人がついに死に、御使たちに連れられてアブラハムのふところに送られた。 22節

やっぱり！ということですね。名前のとおり、神様を信じていた貧しい人ラザロがついに死にました。お葬式さえ、だれにもしてもらえなかったようです。でも御使たちに連れられて、天にいる信仰の父アブラハムのふところに送られていきました。金持も死に、きっと盛大なお葬式をしてもらったのでしょうか、なんと苦しい黄泉にいるではありませんか！そこからあのラザロがアブラハムといえるのを見たのでした。

祈り 天のお父様、死んでのち、どこへ送られるのかは重大です。あなたを信じてまちがいなく天国に行きたいです。

10月14日（水）

聖書
聖句

ルカ 16・24～26

ラザロをおつかわしになって、その指先を水でぬらし、わたしの舌を冷やさせてください。 24節

冬になればたき火をします。身体が暖まってうれしいのですが、そのたき火の炎の中に入ると大変です。ギャーッ！とてとび出でしよう。ここの金持はそんな炎の中でずーっといて苦しみ続けるのですから、まさに地獄、黄泉の苦しみです。ラザロをおつかわしてくださいとお願いしても、あなたとわたしたちの間には大きな淵があつて、どちらからもそこを越えて行くことはできませんよとの答です。恐ろしいばかりです。

いの祈り 天のお父様、一度この地獄の炎の中に入られると、もう決して二度とそこからは出られないと知りました。

10月15日（木）

聖書
聖句

ルカ 16・27～29

父よ、ではお願いします。わたしの父の家へラザロをおつかわしてください。 27節

「では、せめて、まだ地上にいるわたしの五人の兄弟のところにラザロをおつかわしてください、こんな苦しい所へ来ることはないように、伝えさせてください」と、金持はアブラハムにお願いします。アブラハムは答えます、「彼らにはモーセと預言者とがある。それに聞くがよからう」と。わざわざラザロが行かなくても、モーセや預言者はちゃんと神の言葉を語っているし、神を信じるように勧めているのだからと。

いの祈り 天のお父様、今、わたしたちにも大切な聖書を通して、あなたが人生で一番重要なことを教えていてくださり感謝です。

10月16日（金）

聖書
聖句

ルカ 16・30～31

死人の中からよみがえってくる者があっても、彼らはその勧めを聞き入れはしないであろう。 31節

「いえいえ、アブラハムさん、さすがに、死人の中からだれかが兄弟たちの所に行ってくれるならば、きっと、彼らは悔い改めるにちがいありません」と、金持は言います。アブラハムは、「その考えは甘いよ」と言わんばかりです。「もし彼らがモーセにも預言者にも耳を傾けないなら、たとい死人の中からよみがえってくる者が言っても、彼らは聞き入れはしないよ」と。み言葉にしっかり聞きたいね！

いの祈り 天のお父様、あなたの聖書のみ言葉をよくよく聞いて、死んだのちのために、よい備えができるよう助けてください。

10月17日（土）

聖書
聖句

ヘブル 9・23～28

一度だけ死ぬことと、死んだ後さばきを受けることとが、人間に定められている。 27節

ここにハッキリと記されています。だれも死んでおしまいではないのです。お墓に入ってもおしまいでもありません。どんな人でも、金持でも貧しい人でも必ず一度は死に、そして、死んだ後、さばきを受けることがちゃんと、神様によって定められています。その時、わたしの罪の代わりに十字架で一度だけ死んで、よみがえってくださった救い主イエス様を信じるなら、永遠の天の御国に入れてもらえます。信じましょう。

いの祈り 天のお父様、あなたが準備して下さる天国に送っていただくために、しっかりとみ言葉に聞き従います。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨハネ 4・4～26
生ける水への招き
わたしが与える水を飲む者は、
いつまでも、かわくことがない。
ヨハネ 4・14
罪を悔い改め、キリストを信じ
て、喜びに満ちた生涯を送る。

目標

10月18日（日）

聖書
聖句

ヨハネ 4・1～19
わたしが与える水を飲む者は、い
つまでも、かわくことがない。14節

「今年の夏はどうでしたか？」「やっぱり暑
かったよ。飲んでも飲んでものどが渴いたよ
ね」。ここで女の人が昼の暑い時に井戸からく
んだ水も、「この水を飲む者はだれでも、また
かわくであろう」と言われた水でした。ところ
が！「いつまでも、かわくことがない！」「そ
んな水があるなら絶対、飲みたい！」と、この
女の人ばかりでなく、私たちだって思います。
それは、イエス様が与えてくださる水なです
ね。その水について今週考えてみましょう。

いの
祈り 天のお父様、イエス様がくださる渴くこと
のない水を知って、しっかり飲んで潤さ
れるようにしてください。

10月19日（月）

聖書
聖句

ヨハネ 4・15～19
イエスは女に言われた、「あなた
の夫を呼びに行つて、ここに連れ
てきなさい。」 16節

女の人はずぐに、「その水をわたしにくだ
さい」とイエス様に言いました。あなたがそこに
いたら、やっぱり同じことを言ったでしょうね。
するとイエス様は、女の人が隠しておきたい、
言いたくないと思っている夫のことを、ズバ
リ言われたのです。女の方はビックリしたで
しょう。あなたにも隠しておきたい心の秘密
がありますか？イエス様は全部知っていてく
ださって、女の方の心やあなたの心を開い
て、わき出る泉を与えたいと思っておられる
のです。

いの
祈り 天のお父様、かわくことのない水を飲む前
に、心を開いて、きれいにさせていただか
ねばならないと知りました。

10月20日（火）

聖書
聖句

ヨハネ 4・13～14
わたしが与える水は、その人のう
ちで泉となり、永遠の命に至る
水が、わきあがるであろう。 14節

イエス様の十字架から流れてくる、罪のゆる
しの水なのだとわかりますね。この夏、キャン
プで、イエス様の十字架が、この私の罪のた
めだったのだとはっきりとわかって、罪をおわ
びし、イエス様の身代わりの十字架を信じて救
われたお友だちも、きつと思います。あ
なたはどうですか？ 罪がゆるされる喜び！
それだけではありません。永遠の命、きよい
神様の命、罪に勝つ命、たとい死んでも必ず
よみがえる命が与えられたのですから、ハレ
ルヤです。

いの
祈り 天のお父様、イエス様が与えてくださる罪
のゆるしの水をありがとうございます。
喜びが心にあふれます。

10月21日（水）

聖書
聖句

ヨハネ 4・23～26

イエスは女に言われた、「あなたと話をしているこのわたしが、それである」。
26節

「キリストと呼ばれるメシヤがこられたら、いっさいのことを知らせて下さるでしょう」と、女の人が言ったとき、「このわたしがメシヤだよ」とイエス様は女の人に答えました。イエス様とお会いするなんて、何という喜び！ イエス様とお話できるなんて、何という喜び！ 私たちにも同じ喜びが与えられるのです。まずは、週の初めの日曜日の礼拝で、教会学校の礼拝で、み言葉を聞くと、心に覚えるとき、「ああ、イエス様！」って、お会いできるのです。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様が私に話そうと待っていてくださる礼拝に毎週励んで、しっかりお会いできますように。

10月22日（木）

聖書
聖句

ヨハネ 4・27～30

わたしのしたことを何もかも、言いあてた人がいます。さあ、見に来てごらんください。
29節

この女の人の心の中に、イエス様からの水が注ぎこまれて、ほんとうに、泉がわきました。自分のことをみんな知っていてもらえると、いう喜びの泉です。何でもわかってもらえて、そしてゆるしてもらっている安心と喜びと感謝の泉です。泉を見たことがありますか？ こんこんとわき出ていて、どんなにふさごうとしてもだめです。どんどん押し流し、わき出ます。女の人の中から、イエス様を伝える喜びの泉がわきあがり、あふれて出てきました。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様ご自身こそが、信じる私たちの心の泉なのだとわかります。伝えないではられません。

10月23日（金）

聖書
聖句

ヨハネ 15・7～11

わたしの愛のうちにいなさい。
9節

〈大海のように広い主の愛、山より高い主の愛は、私のような者を愛して神の子にしてください（ホーリネス・子どもさんびか53番）というさんびを歌ったことがありますか？ イエス様の愛について、ひとり静かに考えてみることは、とてもいいことです。父なる神様が子なるイエス様を愛されたように、イエス様も私たちを愛してくださっているということです。そのイエス様の愛のうちにいつもいると、イエス様の喜びがまた私たちのうちにも宿り、しかも満ちあふれてくるのです。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様を信じる喜びはまさに大海のようです。どんなことがあっても、尽きてしまうことはありません。

10月24日（土）

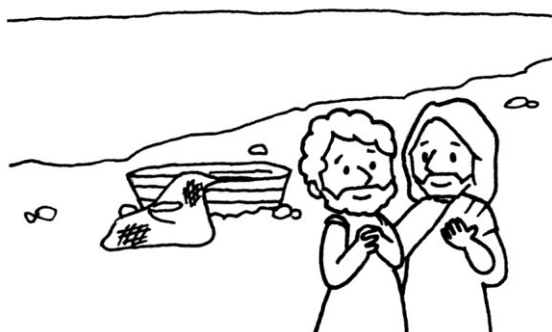
聖書
聖句

ヨハネ 16・22～24

求めなさい、そうすれば、与えられるであろう。そして、あなたがたの喜びが満ちあふれるであろう。
24節

「ねえ、お父さん」、「ねえ、お母さん」で、あなたはよくおねだりしますか？ おねだりしたものがもらえたら、「ヤッター！」って、大喜びするでしょう？ 「わたしの名前によって、天の父なる神様にお祈りするの、同じですよ」とイエス様が言われます。「お祈りって、ほんとうに楽しいし、わくわくするし、いつ神様からの答えがくるか楽しみだし、きっと与えられるから、求めなさい」と言ってくださっています。喜びが満ちあふれるのですから、祈りたいね。

いのちの祈り 天のお父様、私の心の中から、泉のようにお祈りもわき出ますように、そして、喜びが満ちあふれますように。



聖書

ルカ 5・1～11

テーマ
暗唱聖句

キリストの弟子として
そこで彼らは舟を陸に引き上げ、いっさいを捨ててイエスに従った。
自分の無力と罪深さを覚え、キリストに従う者となる。

目標

10月25日（日）

聖書
聖句

ルカ 5・1～11

そこで彼は舟を陸に引き上げ、いっさいを捨ててイエスに従った。
11節

漁師さんたちとは、何をする人たちでしょう？ ハイ、お魚を取る人たちです。その通り！ところが、このゲネサレ湖畔で漁をしていた漁師さんたちは夜通し働いたのに、何も一匹の魚も取れなかったのです。お手上げ状態でした。ところがイエス様のひとこと、「沖へこぎ出して、網をおろして漁をしてみなさい」の通りにしたら…オーツ、大漁！「人間をとる漁師になるのだ」とまたイエス様から言われて、漁師さんたちはイエス様に従いました。

祈り

天のお父様、漁師たちは何と素晴らしいお方に出会ったことでしょうか！わたしも彼らのように主に従います。

10月26日（月）

聖書
聖句

ルカ 5・1～2

漁師たちは、舟からおりて網を洗っていた。
2節

「アーラ！いい所でお会いしましたねエ」って、人との出会いというのは決して自分で計画したり、計算して与えられるものではありませんね。イエス様のお話が聴きたくて聴きたくて、群衆、そう、たくさんの人々がイエス様のところに押し寄せてきたのでした。ついにゲネサレの湖畔まで！ちょうどそこに二そうの小舟があって、漁師たちは、舟からおりて網を洗っているところでした。イエス様との感動的な出会いが目の前だとは全然知らないで！

祈り

天のお父様、素晴らしい出会いはいつも普通の毎日の中で与えられるのがわかり、一日一日がとても楽しみです。

10月27日（火）

聖書
聖句

ルカ 5・3

シモンに頼んで岸から少しこぎ出させ、そしてすわって、舟の中から群衆にお教えになった。
3節

二そうの小舟の持ち主のひとり、シモンでした。イエス様は、群衆が押し寄せて来るので、ついにその二そうの小舟、シモンの小舟に乗り込まれたのです。シモンは押し寄せる群衆にまず驚き、次にイエス様がシモンの舟に乗り込んでこられたのにも目を丸くしたでしょう。おまけに岸から少しこぎ出してほしいと頼まれて、またビックリだったでしょう。その中からイエス様はどんなにか大声でお話されたことでしょうか。一体何を話されたのでしょうかね！

祈り

天のお父様、シモンにとっては、思いもかけない、突然のイエス様との出会いでした。イエス様との出会いを感謝します。

10月28日(水)

聖書
聖句

ルカ 5・4～5

しかし、お言葉ですから、網をおろしてみましよう。 5節

いよいよイエス様のお話も終わりとなりました。するとイエス様はシモンに向かって、「沖へこぎ出し、網をおろして漁をしてみなさい」と言われます。シモンの頭の中は、「???」イエス様は時々、小さなわたしたちの脳みそやハートではわからないと思われることを言われます。シモンはどう答えたでしょう? 「先生、漁師のわたしたちが夜通し働いたのに一匹も取れなかったのですよ…でもあなたのお言葉ですから網をおろしてみます」と。

いの

祈り 天のお父様、あなたやイエス様が言われることがわからない時も、あなたのお言葉を大切に思い従ってみます。

10月29日(木)

聖書
聖句

ルカ 5・6～7

そしてそのとおりにしたところ、おびたしい魚の群れがはいって、網が破れそうになった。 6節

「スゴイ!!」イエス様が言われたとおりにしたのです。するとどうでしょう! 「おびたしい魚の群れ」が網の中にとびこんで来たではありませんか! 〈君たち、今までドコにいたの!?〉って言いたいくらい。網が破れそうになりましたが、破れなかったのです。きっとシモンや他の漁師さんたちのハートも驚きと感激で破れそうになったかも! そうなのです。イエス様のお言葉をそのまま、まともに受け取って、信じて従うとこんな奇跡が起こるのです。

いの

祈り 天のお父様、「そのとおりにしたところ」とのみ言葉をモットーに、いつでもどこでもどんなことでも従います。

10月30日(金)

聖書
聖句

ルカ 5・8～9

主よ、わたしから離れてください。わたしは罪深い者です。 8節

「HELP!(助けて!)」と、シモンは、魚があまりに多くて、一そうの小舟だけではとても岸まで運べないのもう一そうの舟に来るよう頼みました。そうして二そうの舟にいっぱい引き上げて入れると舟が沈みそうになったのです! そんな超大漁でした! それを見たシモンの心の中に、自分がイエス様の前にどんなにか力のない弱い汚れた罪人なのかハッキリと示されたのです。イエス様のひざもとにひれ伏して告白しました。この心が、実は一番神様に喜ばれる心なのですね。

いの

祈り 天のお父様、あなたのお言葉の力の前に、わたしも自分の罪深さを悟ってひれ伏し、ますます従わせてください。

10月31日(土)

聖書
聖句

ルカ 5・10～11

恐れることはない。今からあなたは人間をとる漁師になるのだ。 10節

もちろん、そう思ったのはシモンだけではありませんでした。ゼベダイの二人の子ら、ヤコブとヨハネも同じでした。すると、イエス様はシモンに言われたのです、「恐れることはない。今からあなたは人間をとる漁師になるのだ」と。『人間をとる漁師』とは、罪深く、滅びゆくこの世の海の中から人々を救い出して、天の御国の民とする、この地上で最高最大の漁師です。シモンはもちろんのことヤコブもヨハネもすべてを捨てて主に従いました。

いの

祈り 天のお父様、わたしも、「救うためにおいでくださったイエス様」に従って人々の救いのためのお手伝いをさせてください。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 7・36～50
罪赦された者として
この女は多く愛したから、その
多くの罪はゆるされているので
ある。 ルカ 7・47

目標

多くの罪を赦された者として、
キリストを愛して生きる。

11月1日(日)

聖書
聖句

ルカ 7・47
この女は多く愛したから、その多
くの罪はゆるされているのである。
47節

あなたは、自分が受けなければいけない罪の
罰を、イエス様がぜんぶせおって受けてくだ
さったと知ったとき、どんな気もちでしたか？

この「罪の女」とよばれていた人はきっと、
「イエス様がわたしの救い主！」とはっきりわ
かって、うれしくて、いても立ってもいられな
くなり、自分にできるせいっぱいのことを、
イエス様におさげしたいと思ったんだね。

わたしたちも「赦されてよかったね」で終わ
るのではなく、自分にできるせいっぱいの
感謝の気もちを、イエス様におさげしよう！

祈り 天のお父様、赦されたよろこびと感謝を、
せいっぱいあなたに表します！

11月2日(月)

聖書
聖句

ルカ 7・36
あるパリサイ人がイエスに、食事を
共にしたいと申し出た。 36節

ユダヤでは、先生とよばれる人をまねくこと
は良い行いで、いっしょに食事をしながらみ
んなでお話を聞くということがよくありまし
た。中には、良い行いをしているのを見ても
らいたいと思う人もいたみたい。

このときは、パリサイ人がイエス様をまねき
ました。でも、パリサイ人はイエス様のことを
いつも悪く言う人たちです。

イエス様は、ご自分が試される所であって
も喜んで行き、神様のことを伝えました。
神様のことをだけをおもっておられたんだね。

祈り 天のお父様、自分のことばかりではな
く、あなたのことを思っすごせます
ように。

11月3日(火)

聖書
聖句

ルカ 7・37～38
涙でイエスの足をぬらし、自分の
髪の毛でぬぐい、そして、その足に
接吻して、香油を塗った。 38節

もし、あなたの近くに救い主イエス様がいた
らどうするかなあ？

イエス様は清くて、わたしは汚れている。イ
エス様にふれることも、近づくこともできない
んじゃないか、と思う人もいるかもしれないね。

でも、この「罪の女」とよばれていた人を見
て！ イエス様を信じるなら、だれから「罪人」
とよばれていても、イエス様だけはやさしく受
け入れてくださり、味方になってくださり、友
となってくださるとわかるね！

祈り 天のお父様、こんなわたしでも、受け入
れてくださり、友となってくださるイエ
ス様に感謝します。

11月4日(水)



ルカ 7・39

それは罪の女なのだから。 39節

パリサイ人は、ユダヤ人の中でも、神様の教えをキッチリ守ろうとしていた人たちです。だからよけいに、神様の教えを守らない人や罪人と言われる人、汚れたものにさわると、自分も汚れると思ってきらっていたのです。

外側のことばかり気にしている間に、じつは罪や汚れが、「自分の心の中から出てくる」ということが分からなくなっていたんだね。行いは正しくても、愛がなければ神様の前には意味がないんだよね。

本当に清くされなければいけなかったのは、このパリサイ人だったんだね。

いのちの祈り

天のお父様、行いや、外側の清さばかりを気にするのではなく、心の中の清さを気にして生きていけますように。

11月5日(木)



ルカ 7・40~42

返すことができなかったのに、彼はふたり共ゆるしてやった。 42節

このたとえ話の中で大切なことは、借りたお金が小さかろうが大きかろうが、どうやっても返せなかったことと、返せないはずのものがちょうど消しにされたっていうことだよ。

そして、これは罪のお話なんだ。どんな小さな罪でも、イエス様を信じるまでは、神様の子どもになれないわたしたち。それが赦される！罪をおかしたこともない者とされる！ということまでどれくらいふかく感じているだろう？

「罪が赦される」ということはすごいことだね！ イエス様、ありがとうございます！

いのちの祈り

天のお父様、罪が赦されたことの大きさを、ふかく感じて、わすれることがありませんように。

11月6日(金)



ルカ 7・44~47

少しだけゆるされた者は、少しだけしか愛さない。 47節

人からなにか助けられたり、してもらったときは「ありがとう」って言うよね？ そして、その人のことがすごく好きになっておかししたいし、役に立ちたいって思うよね。

これは罪が赦された人のしぜんな変化。神様をよろこばせたい、イエス様の役にたちたいって気持ちで、毎日を過ごすようになるよ。

良いことをするから神様に愛されるんじゃない、神様がまずわたしたちを愛しておられることを知ろう。そして、こんどは、あなたが、だれかを愛し、赦していく人になろうね。

いのちの祈り

天のお父様、まずあなたが愛し、赦してください。感謝します。わたしも、あなたと人を愛する子どもとしてください。

11月7日(土)



ルカ 7・48~50

罪をゆるすことさえするこの人は、いったい、何者だろう。 49節

世界には、神様がいるとは信じていても、どうしてイエス様が救い主じゃないといけないうのかかわらない人たちがたくさんいるんだ。

そんな人たちの目から見れば、イエス様を「何者だろう」と思うよね。

でも、自分の罪のこと、神様の愛のこと、イエス様の十字架のことを知れば知るほど、イエス様じゃなきゃだめなんだって、わかるね。

どうか、先に知ったあなたから、まだ知らない人たちへ、イエス様のことを伝えていってくださいね。

いのちの祈り

天のお父様、イエス様を何者が分からない人に、少しでもその意味を伝えていけますように。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 19・16-26

富める青年の悲しみ

人にはそれはできないが、神にはなんでもできない事はない。

マタイ 19・26

目標

砕かれた心でキリストを信じ、救いを受け取る者となる。

11月8日(日)

聖書
聖句

マタイ 19・47

人にはそれはできないが、神にはなんでもできない事はない。 26節

この世界には、自分ががんばれば、なんだって手に入るし、できないことはないけど、神様はなにもしてくれないじゃない！と考えている人がたくさんいます。だから、なんとか努力して良いものを手に入れて安心したいんだね。

でも、人にはどうやってもできないことがあるね。それは、死んだあと、天国に行くこと。天国や永遠の命は神様のもの。けっしてお金や行いで買えるものではないよね。

そして、天国行きのこたえを知っている人は言うのです。「人にはできないけど、神様にはできるんだよ！」って。

いの
祈り

天のお父様、天国へ行く方法を知っている幸せを感謝します。

11月9日(月)

聖書
聖句

マタイ 19・16

永遠の生命を得るためには、どんなよいことをしたらいいでしょうか。

16節

この世界では、なにかしてあげたらおかえしが返ってくるものだと考えます。そして、それをそのまま神様にもあてはめて「わたしがこんなにしてるんだから、神様もよくしてよね！」と思ってしまうんだね。

でも、神様はあなたが良い子で、なんでもできる子だから愛してくださるのではないよ。どんなあなたでも、そのまま愛してくださっていることをわすれないでくださいね。

そしてあなたも、この青年のような考えを心に持っていないか、点検してみてください。

いの
祈り

天のお父様、わたしをそのまま愛してくださることを感謝します。

11月10日(火)

聖書
聖句

マタイ 19・17

なぜよい事についてわたしに尋ねるのか。よいことはただひとりだけである。 17節

「良い」は「良い」でも、イエス様は「事」ではなく「方」に注目してほしいと思っているのに気づきましたか？

わたしたちは、なにかおきると行いや出来事だけに心をうばわれて、神様そっちのけ！

でもね、どんな良い事も、ただ自分のためにだけって考えているならさびしいものです。

ほんとうにたいせつなのは、あなたの行いではなく、あなたと神様が、どのような関係にいるかだよ。良い方を見あげてみよう！

いの
祈り

天のお父様、行いで、ものごとの価値をきめるのではなく、あなたとの関係をたいせつにしていけますように。

11月11日(水)



マタイ 19・17～19

もし命に入りたいと思うなら、いましめを守りなさい。 17節

イエス様は、この青年に、そしてあなたに、なにを気づかせたかったんだろう？

どんなにみんながそんなけいする人も、行いが正しいように見える人も、神様の前に立つとき 100%正しい人間と言えるでしょうか？

ちがうよね、100%どころか、欠点や失敗ばかりの自分に気づくよね。そして、自力で天国に行ける人はいないとわかるはずです。

だからこそ、イエス様の言葉を聞いたとき、「そうだ、救い主イエス様の十字架が必要なんだ」と気づくんだね。イエス様の救いを信じるから、神様の前に行けるようになるんだね。

祈り 天のお父様、わたしがあなたの前に行けるのはイエス様がいるからです。イエス様の十字架を感謝します。

11月12日(木)



マタイ 19・20～22

青年は悲しみながら立ち去った。たくさん資産を持っていたからである。 22節

イエス様の人生を見ると「自分を愛するように、あなたの隣り人を愛せよ」ということをできと思っていた自分の愛がとても小さいものだって気づくね。イエス様は人に愛を与えつづけ、命まで捨ててくださったんだもの。

あなたが自分の愛の小ささに気づいたなら、この青年のように立ち去らないでください。

神様の前に、愛のない自分であることをみとめてイエス様に従っていくなら、あなたの心にイエス様の愛があふれて、人と神様を愛せる人生に変えられるよ！

祈り 天のお父様、わたしの心をイエス様の愛でいっぱいにしてください。

11月13日(金)



マタイ 19・23～24

富んでいる者が天国にはいるのは、むずかしいものである。 23節

神様は、ある人にはお金という祝福をそそいでくださることがあるね。でも、イエス様のこのことばを聞くと、目に見えるものには気をつけないといけないうち思うよね？

お金があることが悪いのではなく、気がつけば「神様」より「カネ様」になってしまうからだね。

たいせつなのは、神様の祝福でいただいたものだとかわっていること、そして、それをだれのために、どんなふうに使っていくかだよ。もちろん、神様と人をよろこばせるために使えたら、いちばんだね！

祈り 天のお父様、自分をよろこばせるためではなく、人とあなたのために、いただいたものを使っていきますように。

11月14日(土)



マタイ 19・25

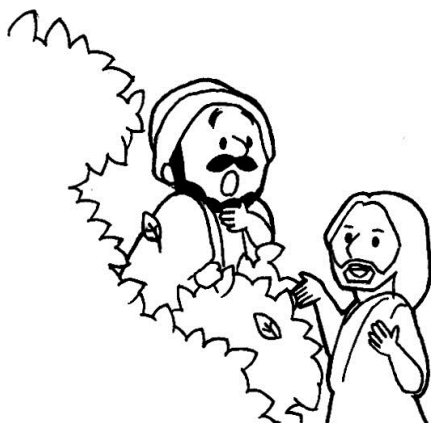
では、だれが救われることができるのだろう。 25節

きっとだれもが、自分の心の中をのぞいたら、「こんなわたしが天国にいけるのかな…」って心配になってしまうね。

そんなわたしたちでも、イエス様は救って今もいっしょに歩んでくださり、天国の道にみちびいてくださるのはなんて幸せなこと！

あなたのまわりにも、天国に行きたいけれど、わからないでいる人たちがいるでしょう。そんな人に出会ったなら、イエスがどんなにすばらしいお方か、教えてあげてね。多くの人が可能になることを体験できますように！

祈り 天のお父様、天国に行けるといいうしあわせを、たくさんの人と分かち合えますように。



聖書

ルカ 19・1～10

テーマ

キリストとの出会い

暗唱聖句

人の子がきたのは、失われたものを尋ね出して救うためである。 ルカ 19・10

目標

救い主キリストに出会い、キリストを心に迎え入れる。

11月15日（日）

聖書

ルカ 19・1～10

人の子がきたのは、失われたものを尋ね出して救うためである。

10節

かわいいペットがいなくなって、必死で捜したことがあるでしょうか。「おーい！ 帰っておいでーフラフラしてたら死んじゃうよう」って。見つかった時はうれしかったでしょう。イエス様も、神様のもとから離れて、自分勝手に生きて、そのままだと永遠に滅びてしまう私たちを見つけ出して、救うために来てくださいました。ここには、ひどいやり方で取税人のおかしらになったけど、とっても淋しかった、失われていたザアカイの救いの物語があります。

いのちの祈り

天のお父様、あなたのもとから離れ迷い出て失われている私たちを、尋ね出して救ってくださるイエス様を感謝します。

11月16日（月）

聖書

ルカ 19・1～2

この人は取税人のかしらで、金持であった。 2節

あなたの名前には、どんな意味がこめられていますか？「ザアカイ」という名前は、日本流に言うと、「正くん」とか、「清くん」という、とても良い名前です。ところが、そんな名前にはふさわしくない生活をしていました。取税人とはローマの手先で、同じユダヤ人から税金を取るの、嫌われ者でした。どうして金持ちになれたか、わかるでしょう。そう、余分なお金を取りたてていたのです。正しくも清くもない、心さびしい人だったのですね。

いのちの祈り

天のお父様、よい地位と、たくさんの財産が幸せの条件ではないということが、ザアカイを見てよくわかります。

11月17日（火）

聖書

ルカ 19・3～4

それでイエスを見るために、前のほうに走って行って、いちじく桑の木に登った。 4節

みんなからのけ者のようにされていたザアカイには、もう一つ、くやしい気持ちがありました。「背が低かった」のです。つまり、人々からは「チビ」と言われて育ってきたのですね。それで、「よーし、今に見ている」と、取税人のかしらにまでなり、がっばりお金をためていったのでした。そのザアカイが、「イエス様を見たい！」と思ったのです。でも、人々が邪魔でとても見えません。ついにピンと来て、いちじく桑の木に登りました。しっかり見ようとしてね。

いのちの祈り

天のお父様、ザアカイの熱心な思いが伝わってきます。わたしも熱心に教会に通ってイエス様とお会いしたいです。

11月18日(水)

聖書
聖句

ルカ 19・5～7

ザアカイよ、急いで下りてきなさい。
きょう、あなたの家に泊まることに
しているから。 5節

「あっ、イエス様だ!」と、じっと見つめて
いると、ザアカイのいるすぐ下でピタッと止ま
られ、上を見あげて、言われます。「ザアカイよ。
「エエーッ!? 私のこと!?」 自分の名前を
ちゃんと呼ばれて、(こんなこと全然なかった
かも) ザアカイは心臓がドキドキ! 次の瞬間、
「急いで下りてきなさい。きょう、あなたの家に
泊まることにしているから」。「ヒエーッ、
今晚! うちに?」 ザアカイはころがり落ちる
ように木からおりてイエス様を迎えました。

いの 祈り 天のお父様、ザアカイの破裂しそうな心臓
と、喜びでいっぱいの姿が目に見えます。
す。わたしも喜んでイエス様を迎えます。

11月19日(木)

聖書
聖句

ルカ 19・8

主よ、わたしは誓って自分の財産
の半分を貧民に施します。 8節

だ一れも相手にしてくれないのに、イエス様
だけが、こんな私に声をかけ、家にまで来て
くださったと思うと、ザアカイの心に光がさ
してきました。自分がやってきたいろんな悪い
ことが見えてきたのです。「ああ、私はまち
がっていた。私もイエス様のように、きよく、
正しく、やさしくなりたい」と、ザアカイは心
から悔い改めて、180度方向転換しました。そ
して罪のつぐないをするとイエス様に言いま
した。財産の半分は貧民にほどこし、不正をし
て得た分は四倍にして返しますと。

いの 祈り 天のお父様、イエス様だけが、人の心に
働いて、変えてくださるお方です。イエ
ス様に近く生活できますように。

11月20日(金)

聖書
聖句

ルカ 19・9～10

きょう、救がこの家に来た。この人
もアブラハムの子なのだから。 9節

「きょう、今! 救いがこの家に来た」と、イ
エス様は心から喜ばれました。ザアカイは、
イエス様を喜んで自分の家に迎え入れたと共
に、心の内にもしっかりとお迎えしましたから。
きょう、あなたの心の中にもイエス様をお迎え
しましょう。きょう、あなたのお家にも、イエ
ス様をお迎えしましょう。「人の子」とはイエス
様のことです。このようにして、イエス様は、
「神様の前から失われている人を尋ね出して
救うために来ました」と言われます。

いの 祈り 天のお父様、あなたを知らず、失われてい
た私たちを尋ね出して救うために、イエス
様をつかわしてくださり感謝します。

11月21日(土)

聖書
聖句

マタイ 9・9～13

わたしがきたのは、義人を招くた
めではなく、罪人を招くためであ
る。 13節

ここに、もう一人の取税人がいます。マタイ
という人です。イエス様は、この人にも、「わ
たしに従ってきなさい」と声をかけられまし
た。すると彼はすぐに立ちあがって、イエス様
に従ったのでした。食事の時には、多くの取
税人や罪人たちがきて、イエス様や弟子たちと
共に席に着きます。パリサイ人たちが「どうし
てこんな人たちと食事をするのか?」というの
を聞いて、「わたしは罪人を招くためにきたの
だ」と言われます。何と感謝なことでしょう。

いの 祈り 天のお父様、イエス様は本当に、天からの
「福音」、グッド・ニュースです。すべての
人がイエス様と出会いますように。

しゅうかくかんしゃ
収穫感謝



聖書
テーマ
暗唱聖句

詩篇65・1～13
恵み深き神への賛美
牧場は羊の群れを着、もろもろ
の谷は穀物をもっておおわれ、彼
らは喜び呼ばわって共に歌う。
詩篇65・13
神のもろもろの恵みを覚え、神
を賛美する。

目標

11月22日(日)

聖書
聖句

詩篇65・1

神よ、シオンにて、あなたをほめた
たえることはふさわしいことである。
1節

今年も収穫感謝の日がやってきました。食べ物
の感謝はもちろん、わたしたちは神様に感謝
することが山ほどあるはず。今週は、なかなか
気づかない神様の恵みに心をむけましょう。

さて、神様に感謝をささげる時、どんなふう
に感謝をあらわしたらいいかな？ それはね、神
様をほめたたえることが一番。心から礼拝をさ
さげて、神様をほめたたえるのです。神様だけ
にしっかり心をむけて、感謝の礼拝をささげま
しょう！ 賛美は力いっぱい声をだしてね！
それが、あなたが何をするよりも、神様が喜ん
でくださることなのです。

祈り 天のお父様、あなたに心から感謝をこめ
て、礼拝をおささげします！

11月23日(月)

聖書
聖句

詩篇65・2～3

祈を聞かれる方よ、すべての肉なる
者は罪のゆえにあなたに来る。
2～3節

神様を礼拝できるって、すごい恵みなんです
よ。本当は、罪をもつわたしたちは、神様の前
になんて出られないはずなんです。でも、イエ
ス様はわたしたちの罪のみがわりに十字架に
かかってくださいました。これは、わたしたち
が安心して神様の前に出て、礼拝することがで
きるように、神様のほうからくださった恵み。

あなたがどんなに罪深くて、神様はあなた
が大好き。「礼拝においで！」って呼んでくだ
さっているんです。なんていう恵み！ これはも
う、ぜったい礼拝しないと！

祈り 天のお父様、罪人のわたしをゆるして、礼
拝に呼んでくださり感謝します。心から
あなたを礼拝していきます！

11月24日(火)

聖書
聖句

詩篇65・5～7

あなたは大能を帯び、そのみ力に
よって、もろもろの山を堅く立たせら
れる。
6節

わたしたちが信じている神様って、どんなお
方か、よく考えたことがありますか？ 今日
読んだところには、「地」「海」「山」がでてきま
すね。神様は、天にあるもの地にあるもの、す
べてを造られて、治めておられるお方。もう、
人間じゃ考えられないほどの力、けっして
人間が追いつくことはできない力がある、
「大能」のお方なのです。考えれば考えるほ
ど、神様はすごすぎる…！

このお方が、わたしたちが信じる神様です。
いつも共にいてくださる神様です。なんて感謝
なことだろう、って思いませんか？

祈り 天のお父様、大能のお方が、わたしの信じ
る神様であることを心から感謝します！

11月25日（水）



詩篇65・7～8

あなたは朝と夕の出る所をして喜び歌わせられる。 8節

神様は、世界中の人々を治めておられるお方です。今日読んだ、「朝と夕の出る所」というのはね、太陽がのぼる東の国から、沈む西の果ての国まで、世界中の国々！という意味。世界中の人々の間で起こっていることぜんぶ、神様がかわっていないことは何一つありません。

あなたの人生もそうですよ。神様があなたから離れちゃった、あなたを忘れちゃった、…なんてことは今まで一度もないし、これからもけっしてありません。神様があなたを治めておられるのですから。それがわかると、神様を畏れる気持ちと賛美する気持ちがわいてきますね！

いの

祈り 天のお父様、世界中を治め、わたしを治めておられるあなたを心から賛美します！

11月26日（木）



詩篇65・9

あなたは地に臨んで、これに水をそそぎ、これを大いに豊かにされる。神の川は水で満ちている。 9節

わたしたちが毎日飲んでいる、水。え、お茶を飲んでいるって？ それも水からできていますよね。水は、神様からの恵みなんですよ！

人は水をとらないと生きていけません。畑の作物も果物も、水がなければ枯れます。水は本当に大切なものです。日本では水道をひねれば水が出てくるので、感謝したことがないかもしれません。でも、その水は、あなたのために神様が雨をふらせ、そそいでくださる水なのです。なんだか水を見る目が変わりますね。水を飲む時も、神様に感謝しないといけませんね！

いの

祈り 天のお父様、あたりまえのように飲む水が、神様の恵みだとわかりました。心から感謝します！

11月27日（金）



詩篇65・10～11

またその恵みをもって年の冠とされる。あなたの道にはあぶらがしたたる。 11節

今日読んだところは、神様がまるで農家の方みたいに「よいしょ、よいしょ」と働いておられるように書かれていますね。目には見えなくても、神様は毎年、春・夏・秋・冬、休むことなく、すべての作物を育ててくださっています。

作物や果物でいっぱいの畑を見たことがありますか？ もう、本当に美しいんですよ！ まるで、神様が畑に美しい冠をかぶせてくださっているみたいです。だって、神様がわたしたちのために愛情をこめて育ててくださったものなんですから…。うれしくて涙が出てきそう。

いの

祈り 天のお父様、わたしのために、休むことなく作物を育ててくださり、心から感謝します。感謝しながらいただきます！

11月28日（土）



詩篇65・12～13

牧場は羊の群れを着、もろもろの谷は穀物をもっておおわれ、彼らは喜び呼ばわって共に歌う。 13節

今日は、神様が造られたものすべてが、神様に感謝して、いっしょに神様をほめたたえる！と書かれています。作物も、羊も、そのほかすべてのもの、わたしたち人間もいっしょに！です。

もし、わたしたちが神様を信じていなかったら、食べ物、着る物など、ぜんぶあるのが当たり前だと思って生きていたでしょう。神様に「ありがとうございます」も言わずに生きていくでしょう。だから、神様を信じているって恵みだと思いませんか？ さあ、すべての恵みに感謝して、思いっきり神様を賛美しましょう！

いの

祈り 天のお父様、あなたがすべての恵みをくださるお方です。ありがとうございます。あなたを心から賛美します！

I アドベント



聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 1・8～25、57～66

祈りの答え
恐れるな、ザカリヤよ、あなたの祈りが聞きいれられたのだ。

目標

ルカ 1・13
祈りが聞かれたとき、素直に受け止める信仰を持つ。

11月29日（日）

聖書
聖句

ルカ 1・8～25、57～66

恐れるな、ザカリヤよ、あなたの祈りが聞きいれられたのだ。 13節

神のみ子、救い主イエス様の誕生の時には、いろいろな不思議なことが起こりました。きょうの所もその一つです。イエス様のために道を備えたバプテスマのヨハネの両親、特に父ザカリヤに起こったことです。彼が主の聖所にはいって香をたく務めをしていると、突然（！）主の御使が現れて、「あなたの祈りが聞きいれられたのだ。あなたの妻エリサベツは男の子を産むであろう」と言います。「え？こんな老人たちに！？」疑うザカリヤは物が言えなくなりました！

祈り 天のお父様、祈りが聞きいれられたという御使の言葉を信じるべきでした。ちゃんと祈りが聞かれたら信じられますように。

11月30日（月）

聖書
聖句

ルカ 1・5～7

エリサベツは不妊の女であったため、彼らには子がなく、そしてふたりともすでに年老いていた。 7節

神様にお仕えしていた祭司ザカリヤと奥さんのエリサベツのことです。ふたりとも神様が第一におそれ、きっちりと神様の戒めに従っていた立派な人たちでした。ただ一つ、気になっていたのは子どもがないということだったのです。ユダヤでは妻が子を産まないということは恥ずかしいこととされていました。きつとふたりは真面目に必死でお祈りしたことでしょう。ところがふたりともどんどん年を取り、老年になっていました。もう無理なのではないでしょうか？

祈り 天のお父様、お祈りしてもお祈りしても全然何も起こらないことがあります。それでもお祈りしていきます。

12月1日（火）

聖書
聖句

ルカ 1・8～20

時が来れば成就するわたしの言葉がきけなくなり、この事の起る日まで、ものが言えなくなる。 20節

主の聖所にはいって香をたく務めは一人の人の一生に一度あるかないかくらいのことでした。その時、主の御使がザカリヤに現れて、「あなたの祈りが聞きいれられたのだ」と言われ、「エリサベツが産む男の子をヨハネと名づけなさい」と言われるではありませんか！お祈りしていたのに、祈りが聞かれたのに、「どうしてそんな事が」と信じられなかったザカリヤでした。とうとう十ヵ月間何も話せなくなりました！

祈り 天のお父様、いきなり、あなたが祈りを聞いてくださる時、しっかりと感謝して受け止められますように。

12月2日（水）

聖書
聖句

ルカ 1・21～25

主は、今わたしを心にかけてくださって、人々の間からわたしの恥を取り除くために、こうしてくださいました。 25節

「ザカリヤさん、なかなか出て来ないね」。やっと出て来たと思ったら、今度は物が言えません！「きつとまぼろしでも見たにちがいないよ」と言う人々に、ザカリヤは手で合図するだけで一言も話せません。務めの期間も終り、ふたりで家に帰りました。しばらくして、奥さんのエリサベツはみごもりました！五カ月の間静かに引きこもっていましたが、「主が今わたしを心にかけてくださいました」と、心から恥を取り除いてくださった主をほめたたえました。

いのちの祈り 天のお父様、あなたは本当に真実にお祈りにこたえてくださるお方です。信じぬいていのちの祈り、感謝できますように。

12月3日（木）

聖書
聖句

ルカ 1・57～61

いいえ、ヨハネという名にしなくてははいけません。 60節

「ホギヤー、ホギヤー！！」とうとうエリサベツが出産の日を迎え、彼女は御使がザカリヤに告げたとおりに、男の子を産みました！近所の人々や親戚の人々は、神様が大きなあわれみをかけてくださったことを知り、共どもに大いに喜びました。八日目に、その子に割礼という儀式を行いました。人々は、父ザカリヤの名と同じ「ザカリヤ」という名にしようとしたら、母エリサベツは御使がザカリヤに告げたように「ヨハネ」にしますと言いました。

いのちの祈り 天のお父様、ザカリヤはちゃんと大切なことをエリサベツに伝え、ふたりとも守っていったことがよくわかります。

12月4日（金）

聖書
聖句

ルカ 1・62～66

「その名はヨハネ」と書いたので、みんなの者は不思議に思った。63節

母エリサベツが「ヨハネにしなくてははいけません」と言うと、人々は、「あなたの親族の中には、そういう名のついた者は、ひとりもいません」と彼女に言い、「じゃ、父親に聞こう」ということで、合図でたずねました。彼は書板を持ってこさせて、それに、「その名はヨハネ」と書いたのです。みんなはまたまた不思議に思いました。すると次の瞬間、ザカリヤの口が開けて舌がゆるみ、語り出して神をほめたたえたのです！不思議つづきでした。

いのちの祈り 天のお父様、今でもあなたのみ言葉のとおりに従って進む者のために、不思議をなしてくださり感謝します。

12月5日（土）

聖書
聖句

ルカ 1・67～80

幼な子よ、あなたは、いと高き者の預言者と呼ばれるであろう。 76節

あなたもしかして、何日かのどが痛かったりして、物が言えなかったことがありますか？普通に物が言えるようになるとうれしかったでしょう？ザカリヤは何しろ十ヵ月だったのですから、口が開かれて、大いに神様を賛美し、預言して言いました。「父ザカリヤは聖霊に満たされ、預言して言った」（68）とある通りです。神様から与えられた男の子、その名はヨハネと名付けられて、「あなたはいと高き者の預言者と呼ばれるであろう」と預言しました。

いのちの祈り 天のお父様、ザカリヤの底抜けの喜びと魂の感動が伝わってきます。どこまでも神様の言われるように生きたいです。

Ⅱ アドベント



聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 1・26～38

お言葉どおり

わたしは主のはしためです。お言葉どおりこの身に成りますように。

ルカ 1・38

目標

神様のご計画に従って従順に生きる者となる。

12月6日(日)

聖書
聖句

ルカ 1・26～38

わたしは主のはしためです。お言葉どおりこの身に成りますように。
38節

クリスマスがどんどん近づいてきてワクワクですね。子どものクリスマス会はいつですか？たくさんのお友だちが本当のクリスマスをお祝いできますように！クリスマスは、「この人」がおられたので実現しました。「この人」とは？そう「マリヤ」です！高校生くらいの年代だったようです。若いけれど素晴らしい、純粋な信仰の人でした。ある日突然、御使ガブリエルがやってきて、「救い主の母に」と告げます。「お言葉どおり」と答えたのです。

いのちの祈り

天のお父様、今週、このマリヤの純粋な信仰と従順を学んで、わたしもマリヤにならって祝福の道を進みたいです。

12月7日(月)

聖書
聖句

ルカ 1・26～28

恵まれた女よ、おめでとう、主があなたと共におられます。 28節

ユダヤの都エルサレムから遠く北にあるガリラヤ、そこは「異邦人のガリラヤ」（イザヤ 9・1）などに見下される地方のナザレという田舎町に住むマリヤのもとに、神からつかわされた御使ガブリエルがやってきました。神様のみわざは、ひっそりと静かに、でも確実になされるのです。そのあいさつの言葉は、「恵まれた女よ、おめでとう。主があなたと共におられます」というものでした。マリヤはいつも、深く主とお交わりをしていた人なのです。

いのちの祈り

天のお父様、そんな田舎の世の中に全く知られていない人に、神様の選びの「白羽の矢」が立ったことは驚きです。

12月8日(火)

聖書
聖句

ルカ 1・29

この言葉にマリヤはひどく胸騒ぎがして、このあいさつはなんの事であろうかと、思いめぐらしていた。 29節

あなたは人の言うことをしっかりと聞ける子どもですか？全然聞こうとしない子、聞き流してしまう子、右の耳から入って左の耳にぬけてしまう子といるでしょう。耳から聞いてちゃんと心にしまえる子どもになってください。マリヤはとてもよい耳と共に、よい心の持ち主でした。突然の御使ガブリエルの言葉（人間じゃなく！）に、とても胸がドキドキして、「いったいなんのあいさつ？」と心の中で、思いめぐらしていたのです。よい心ですね。

いのちの祈り

天のお父様、思いめぐらすというのがマリヤのよい特徴でした。わたしもその思いめぐらすのをやってみます。

12月9日（水）

聖書
聖句

ルカ 1・30～33

見よ、あなたはみごもって男の子を生むでしょう。その子をイエスと名づけなさい。 31節

静かに思いめぐらしているマリヤに御使は言いました。「恐がることはありません、マリヤ、あなたは神から恵みをいただいています。あなたは男の子を産みますから、その子の名をイエスとつけなさい。その子は大きいなる者となり、いと高き者の子となえられます。主なる神は彼に父ダビデの王座を与え、彼はとこしえにヤコブの家を支配し、それは限りなく続きます」と。マリヤは、まだ心をドキドキさせながら、でもしっかり聞き取ったのです。

いの祈り 天のお父様、マリヤが、人間の言葉でなく、御使ガブリエルの言葉を、しっかり聞いたことを不思議に思います。

12月10日（木）

聖書
聖句

ルカ 1・34～37

神には、なんでもできないことはありません。 37節

「どうして、そんな事があり得ましょうか。わたしにはまだ夫がありませんのに」。そう、マリヤはヨセフのいいなずけ（婚約者）だったので、「子を産む」と言われても、「そんな事はあり得ないでしょう」と答えたのです。するとまた驚くような御使の返事です。「聖霊によってみごもるのです。だから、生れてくる子どもは聖なる者で、神の子となえられます。あのエリサベツでさえ子を宿して六ヵ月です。神にはなんでもできないことはありません」と！

いの祈り 天のお父様、あなたのご計画は、本当に人間の常識を超えた、スゴイものであることを、改めて覚えさせられます。

12月11日（金）

聖書
聖句

ルカ 1・38

わたしは主のはしためです。お言葉どおりこの身に成りますように。 38節

御使の言葉をじっと聞くマリヤの心の中はどうだったでしょうね？「ああわたしって、待ち望んできた救い主のお母さんになるんだわ。でもヨセフはとても悩み苦しむかしら。周囲の人々も、『何！？』って白い眼で見えるかしら。いえ、それより姦淫の女だって、殺されるかも・・・」短い時にあれこれ思ったことでしょう。でも、「一番大切で、お従いしていくべきなのは、『神様のお言葉』。わたしは神様の奴隷女です。おっしゃるとおりにこの身にしてください」と答えたのです。

いの祈り 天のお父様、マリヤの命がけの従順と、献身があって、めでたくクリスマスとなったことに大きく感動します。

12月12日（土）

聖書
聖句

ルカ 1・39～45

主のお語りになったことが必ず成就すると信じた女は、なんとさいわいなことでしょう。 45節

マリヤは大急ぎで山里のユダの町へとんで行きました。ザカリヤの家です。信仰の友エリサベツにあいさつに行ったのです。あなたも教会と一緒に行くお友だち、神様やイエス様のことをお話できるお友だちがいますか？マリヤがエリサベツにあいさつすると、エリサベツのお腹の中の子どもが喜び、おどったのですって！エリサベツは聖霊に満たされて、主の母となったマリヤを祝福しました。本当に「神様の言われたことはきっとその通りになる」と信じた、さいわいな婦人たちでした。

いの祈り 天のお父様、今もみ言葉をもってわたしに語ってくださり感謝します。その通りになるといつも信じていきます。

Ⅲアドベント



聖書

ルカ 2・1～7

テーマ

キリストの誕生の場所

暗唱聖句

客間には彼らのいる余地がなかったからである。ルカ 2・7
心を開き、キリストを心と生涯にお迎えする。

目標

12月13日（日）

聖書
聖句

ルカ 2・1～7

客間には彼らのいる余地がなかったからである。 7節

あなたが「オギャァ！」と生れた所はどこでしたか？もちろん自分で覚えている人なんて誰もいないでしょう。お母さんから聞いて、「あの病院のベッドよ」ってわかるわけですよ。さてさて、神のひとり子、救い主イエス様がお生れになった所はどこだったでしょう。「神様の大切なひとり子だから、どこかすごくきれいな所にお生れかな？」と考えますか？そこは家畜たちがごはんを食べる飼料おけの中でしたよ。「エーッ！なぜ？」と思ってしまいますね。

祈り 天のお父様、イエス様がお生れになった場所についても、きっとあなたの深いご計画があったにちがいないと思います。

12月14日（月）

聖書
聖句

イザヤ 9・1～2

後には海に至る道、ヨルダンの向こうの地、異邦人のガリラヤに光栄を与えられる。 1節

あなたのお父さんやお母さんの生れ故郷はどこでしょう？今あなたが住んでいる所ではないとしたら、お休みに出かけたりできる楽しみな所なのかな？ガリラヤ、ここはイエス様の父ヨセフと母マリヤたちが住み、暮らしていた所でした。ガリラヤのナザレという所です。ガリラヤは異邦の偶像を拝むフェニキヤと隣国だったので「異邦人のガリラヤ」などと見下されました。でもそこで主の両親が暮らし、やがてイエス様も生活し、活躍された所でした。

祈り 天のお父様、あなたが選ばれた、イエス様の両親のいた地を思います。人には見下されても神は光栄を与えられます。

12月15日（火）

聖書
聖句

ミカ 5・1～4

しかしベツレヘム・エフラタよ、あなたはユダの氏族のうちで小さい者だが、イスラエルを治める者があなたのうちからわたしのために出る。 2節

「ズバリ！イエス様がお生れになる場所はベツレヘムです！」と預言したのがミカという預言者でした。ミカはイザヤと同じく預言したので、イエス様がお生れになる七〇〇年も前に、その預言をしました。ユダの氏族のうちで小さい者を神様はお選びになりました。その中から、イスラエルを治める者、つまり救い主が誕生するということです。「イエス様の両親はナザレなのに、なぜベツレヘムなの？」と思いますね。

祈り 天のお父様、預言者は本当にスゴイ人たちです。何百年も先のことを、間違いなく言い当ててしまうのですから。

12月16日(水)

聖書
聖句

ルカ 2・1~3

そのころ、全世界の人口調査をせよとの勅令が、皇帝アウグストから出た。 1節

歴史の勉強、好きですか？歴史を英語で言う
とヒストリー (HISTORY) と言うのです。それは
また、ヒズ・ストーリー (HIS STORY) だと言いま
す。「彼の歴史」、つまりイエス様の歴史だっ
て！イエス様は歴史の中の人、また、歴史を支配
しておられる神様なのです。全世界の人口調査
をするようにとの命令がローマ皇帝アウグスト
から出されました。皇帝の命令には、みんな従
わなければなりません。さあ大変。登録のため
に人々は動き出しました。

いのちの祈り 天のお父様、小さいわたしの一生の歴史も、
国の大きな歴史も、みなあなたがみ手の
中に治めていることを知りました。

12月17日(木)

聖書
聖句

ルカ 2・4~5

ヨセフもダビデの家系であり、ま
たその血統であったので、ガリラ
ヤの町ナザレを出て、ユダヤのベ
ツレヘムというダビデの町へ上っ
て行った。 4節

な一るほど、ここでわかりましたね。なぜイ
エス様がベツレヘムでお生れになられたの
か！ヨセフは、ダビデ王様の家系でした。そし
てまたその血統だったのです。人口調査のため
には、人々はそれぞれ登録をするために、自分
の町へ帰って行きました。そこで、住んでいた
ガリラヤのナザレを出発し、ユダヤのベツレ
ヘムというダビデの町へ上って行きました。い
いなづけの妻マリヤも一緒に登録をするため
に行きました。

いのちの祈り 天のお父様、あなたのなさることはなんて
見事なのでしょう。あなたによる預言は
絶対はずれることはありません。

12月18日(金)

聖書
聖句

ルカ 2・6~9

彼らがベツレヘムに滞在している
間に、マリヤは月が満ちて、初子を
産み、布にくるんで、飼葉おけの中
に寝かせた。 6~7節

それにしても、ベツレヘムはベツレヘムでも、
家畜小屋の飼葉おけの中に神のひとり子、救い
主イエス様が、布にくるまれて、寝かせられた
のでした！ベツレヘムにはその時、あまりに大
勢の人々が登録のためにやってきていたみたい
ですね。長い旅で疲れたヨセフとマリヤ。その
マリヤはもう今にも子どもが生れるかと思うよ
うな様子だったのでしょう。やっと与えられた
お宿が、牛や馬のいる家畜小屋でした！

いのちの祈り 天のお父様、何という驚きでしょう。神の
み子の誕生の場所！どのような深い意味
があるのか教えてください。

12月19日(土)

聖書
聖句

ルカ 2・7

客間には彼らのいる余地がなかつ
たからである。 7節

今週のみ言葉です。神のみ子、救い主イエ
ス様をお迎えし、お宿しできるちゃんとした
客間がありませんでした。実は、わたしたち
の心は、あの飼葉おけのようではないです
か？飼葉おけは小さくて、固くて、冷たくて(石
のものもありました)、臭くて、汚れていて…。
イエス様はそんなわたしたちの心にも喜ん
でお宿りくださり、清くして、栄光で輝かせ
てくださいます。わたしたちは罪をおわびし、
心の客間に救い主を心からお迎えいたしま
しょう！

いのちの祈り 天のお父様、きょうわたしの心のまん中
にイエス様をお迎えして、本当のクリスマ
スをお祝いしたいです。

クリスマス



聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 2・8-20

喜びの知らせ

きょうダビデの町に、あなたが
のために救主がお生れに
なった。 ルカ 2・11

目標

喜びの知らせであるキリスト
誕生を共に喜ぶ。

12月20日(日)

聖書
聖句

ルカ 2・8~20

きょうダビデの町に、あなたが
のために救主がお生れになった。
11節

2015年のクリスマス、おめでとうございます！
洗礼を受けるお友だちがいたら、ハレル
ヤ！おめでとう！

イエス様のお誕生の初めてのクリスマスは約
2千年前だけど、それからずっとイエス様お
誕生の喜びの知らせは鳴りひびき続けてい
ます。初めてのグッド・ニュース、ハッピー・
ニュース、ジョイフル・ニュースは、天から、
主の御使から伝えられました。今は、わたした
ちが伝えていく時です！

いの
祈り 天のお父様、約束どおり、ダビデの町ベツ
レヘムにお生れくださった救い主誕生の
喜びの知らせを感謝します。

12月21日(月)

聖書
聖句

ルカ 2・8~9

さて、この地方で羊飼たちが夜、
野宿しながら羊の群れの番をして
いた。 8節

《救い主誕生！》ユダヤの民が、何百年も待
ち望んで、待ちに待っていたできごと。このス
ペシャル・ニュースを神様は一体誰に一番に伝
えたと思いますか？！王様でも皇帝でもあり
ません。祭司や律法学者でもありません。貧し
い羊飼いたちでした。律法も守れないといって
社会からつまはじきにされていた羊飼いたち
でした。彼らは自分たちの仕事を忠実にやっ
ていました。羊たちのために夜、野宿までし
て番をしていた人たちでした。何という特権！

いの
祈り 天のお父様、羊飼いたちは、思いもかけな
い主の栄光の輝きに非常に恐れましたが、
何という夜だったでしょう！

12月22日(火)

聖書
聖句

ルカ 2・10~11

恐れるな。見よ、すべての民に与え
られる大きな喜びを、あなたがた
に伝える。 10節

主の栄光に照らされて、あまりのまぶしさに、
羊飼いたちは、「こ、これは、な、なにごと？」
と、とっても恐れました。無理ありません。
未だかつてなかったことです。御使は驚
くばかりの知らせを伝えてくれました。「すべ
ての民に与えられる大きな喜び——救い主が
お生れになった」と！これはすべての民に与え
られるものです。大きな喜びの知らせです。救
い主誕生の知らせです。羊飼いたちは目をパ
チパチ、耳を一瞬疑ったかもしれません。

いの
祈り 天のお父様、喜びの知らせはいくつもあ
りましたが、救い主誕生の知らせほど大
きな喜びは全宇宙最大のものです。

12月23日（水）

聖書
聖句

ルカ 2・12

あなたがたは、幼な子が布にくるまって飼葉おけの中に寝かしてあるのを見るであろう。それが、あなたがたに与えられるしるしである。

12節

このニュースは、イエス様がお生れになってすぐに伝えられましたね。羊飼いたちはイエス様のお生れになった所から近い所にいたのでした。救い主のしるし、それは「幼な子が布にくるまって飼葉おけの中に寝かしてある」というしるしでした。羊飼いたちは、「ヘエ、何て不思議なしるしだ？」と思ったでしょうか？家畜小屋の飼葉おけの中だった、それなら貧しいおれたちも近づけるぞと思ったでしょうか。

いの祈り 天のお父様、羊飼いたちに知らせたこと、救い主のしるしのこと、考えれば考えるほどあなたらしいと思えます。

12月24日（木）

聖書
聖句

ルカ 2・13～14

いと高きところでは、神に栄光があるように、地の上では、みこにかなう人々に平和があるように。

14節

すると見る見るうちに、夜空いっぱい、いえ、もう暗い空はすっかりおおい尽くされて、数え切れないほどの天の軍勢たちが現れたではありませんか。そして、御使と一緒に、神様をさんびして言いました。

「栄光、神に。平和、地に」とね！うわあ、どんなにまぶしいばかりだったことか、どんなにきれいな声がひびいたことか、どんなにかきれいなメロディーとハーモニーだったことか！羊飼いさんたちは幸せの絶頂でしたね。

いの祈り 天のお父様、この御使と天の軍勢たちのさんびこそ、あなたを心に迎えたわたしたちのさんびと祈りです。

12月25日（金）

聖書
聖句

ルカ 2・15～16

そして急いで行って、マリヤとヨセフ、また飼葉おけに寝かしてある幼な子を捜しあてた。

16節

一体、どれくらいの時間のできごとだったのでしょうか？御使いたちがみんなサーッと天に帰って行くと——そう、あたりはもとのように夜の闇でした。でも、羊飼いさんたちの心の中には、希望のともびび！「さあ、行って、主がお知らせ下さった出来事をみてこよう！」「そうだ、救主を捜しに行こう！」「と、彼らは急いで行ったのでした。広いベツレヘムの町で捜すのって、大変だったかな？『救主捜し』！ついに彼らは飼葉おけの救主を見つけました。

いの祈り 天のお父様、羊飼いさんたちのように、素直な心であなたのみ言葉を信じ受け入れ、救主と日々出会いたいです。

12月26日（土）

聖書
聖句

ルカ 2・17～20

羊飼たちは、見聞きしたことが何もかも自分たちに語られたとおりであったので、神をあがめ、またさんびしながら帰って行った。

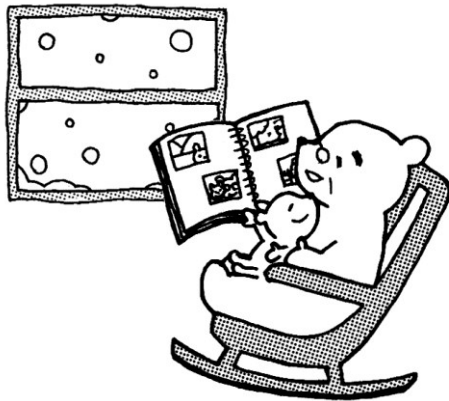
20節

ダビデの町、布にくるまって飼葉おけの中に寝かしてある幼な子——これが救主のしるしですと告げられた羊飼さんたちは、本当に、聞いたとおりのことを見て、心から神様をあがめました。そして、心の中から、口から、さんびがあふれたのでした。ついに待ちに待っていた救主が来られた！全世界の人の救主だ！大きな喜びの知らせだ！

この知らせを羊飼さんたちは人々に伝えたのでした。史上最大の知らせを。

いの祈り 天のお父様、救主イエス様を感謝します。わたしも心から信じて、喜んでまわりの人々に伝えていきます。

ねんまつかんしゃ
年末感謝



聖書
テーマ
暗唱聖句

詩篇103・1～22
神の恵みを覚える
わがたましいよ、主をほめよ。
そのすべてのめぐみを心にと
めよ。 詩篇103・2
一年間の神の恵みを覚え、神を
賛美する者となる。

目標

12月27日(日)

聖書
聖句

詩篇103・1～22

わがたましいよ、主をほめよ。そ
のすべてのめぐみを心にとめよ。
2節

神様を信じる人は、晴れてもアーメン、雨で
もハレルヤ！ 今年最後の日曜日となりました。
この一年間、いろんなことがあったでしょう。
晴れの日も、曇りの日も、雨の日も、台風の日
も、大雪の日も。そんな一年の内に、神様は私
たちひとりひとりにどんなによくしてくだ
さったことでしょうか？「主の良くしてくだ
さったことを何一つ忘れるな」(新改訳)です。
一つ一つ思い出し、感謝のお祈りをしましょう。
心はあふれて思わずハレルヤ！ 主をほめよ、
と叫ぶでしょう。

いの
祈り

天のお父様、この一年もあなたの愛とめぐ
みをありがとうございます。たましいの底
から感謝をささげます。

12月28日(月)

聖書
聖句

詩篇103・1

わがたましいよ、主をほめよ。わが
うちなるすべてのものよ、その聖なる
み名をほめよ。 1節

詩篇103篇の中で、「わがたましいよ、主を
ほめよ」と、三回も呼びかけています(1、2、
22節)。「主をほめよ」という言葉のヘブル語が、
「ハレルヤ」なのです。そしてここには、「わ
がうちなるすべてのものよ、その聖なるみ名を
ほめよ」とあります。もしかしら教会の礼拝
でさんびする時、口先だけでする時もあったか
も。「うちなるすべてのもの」ですから、心も
魂も全力あげてですよね。「神様を精一杯
ほめたたえることに集中するのだ！」と。

いの
祈り

天のお父様、ただあなたのめぐみを思い、他
のことは全部置いておいて心の底から思
い切りあなたを賛美いたします。

12月29日(火)

聖書
聖句

詩篇103・3～5

あなたの生きながらえるかぎり、
良き物をもってあなたを飽き足ら
せられる。 5節

「神様、ごめんなさい」とおわびしなければ
ならない時もあったでしょう。神様はその時、
イエス様の十字架のゆえに、すべてゆるしてく
ださったでしょう。病気になって、痛かったり、
不安でいっぱいになったこともあったでしょ
う。でも神様はすべての病気をなおしてくだ
さったでしょう。私たちを罪から救って、あ
われみの心を注いでくださいました。この
神様は、私たちが地上に生きている限り、必要
な良き物で身も心も満足させてくださいます。

いの
祈り

天のお父様、こんなによくしてくださり、
身も心も魂も満たしてくださるあなた
をますます信頼していきます。

12月30日(水)

聖書
聖句

詩篇103・6～12

東が西から遠いように、主はわれらのとがをわれらから遠ざけられる。
12節

東から、朝になると明るい太陽が昇ってきます。夕方になると、とってもきれいな夕焼けの中を、赤い太陽が西へ沈んでいきますね。東と西、それは全く反対方向、東が西から遠いように、そう、東と西とは絶対に会うことはありません。ずっと、ずっと遠く離れています。神様はそうのように、私が犯してしまった罪やあやまちを、私から遠ざけてくださるということです。「すごいなァ、うれしいなァ、ありがたいなァ」としみじみ感心してしまいます。

いのちの祈り 天のお父様、あなたを信じる者のために、それほどまでして罪を遠ざけてくださることを、心から感謝いたします。

12月31日(木)

聖書
聖句

詩篇103・13～14

父がその子供をあわれむように、主はおのれを恐れる者をあわれまされる。
13節

お父さんにだっこしてもらったり、おんぶしてもらったり、ひざの上で遊んでももらったり、ひこうきしてもらったり、いろいろ思い出しますか？ お父さんは小さいあなた、あぶなっかしいあなたがかわいくてたまらなくて、目を細めて守っていてくれるのです。神様も、そんなお父さんのように、神様をうやまい恐れ、愛する私たちに、あわれみの心をかけて守っていてくださいます。なぜなら、私たちは、ちりから造られた弱い者だからです。

いのちの祈り 天のお父様、この一年も、弱い私をあわれみ、いつも共にいて、守ってくださったことをありがとうございます。

1月1日(金)

聖書
聖句

詩篇103・15～19

主はその玉座を天に堅くすえられ、そのまつりごとすべての物を統べ治める。
19節

今までのうちに、愛する人を天に送ったお友だちもいますか。人の一生って、ほんとにすぐ枯れる草や花のようだと思います。でも、神様を信じる信仰はいつまでも、とこしえまで、子らや孫らにと、その祝福が受け継がれていくので心が安らぎます。神様こそが、天の王座にお座りになって、天と地と、宇宙や世界、国々を、そして、人間を、この私をも(!)愛のみこのころのままに治めていてくださいます。この主をほめたたえよう！主の年、2016年あけましておめでとうございます！

いのちの祈り 天のお父様、雄大なあなたのご支配の中に、この私の一生も入れていてくださることを覚え、ほめたたえます。

1月2日(土)

聖書
聖句

詩篇103・20～22

主が造られたすべての物よ、そのまつりごとの下にあるすべての所で、主をほめよ。わがたましいよ、主をほめよ。
22節

この年も、「わがたましいよ、主をほめよ」を始め、そして毎日それで過ごし、年の終わりの年もそれでしめくくれたらいいですね。そして、明日は、今年の最初の日曜日です。去年は、52回の日曜日のうち、何日教会へ行けたのかな？ 今年は、昨年よりもっともっと神様に近づけますように。毎週のはじめに、「わがたましいよ、主をほめよ」と教会で賛美しましょう。

いのちの祈り 天のお父様、新しい年の始めに、あなたを心より礼拝し、ほめたたえて始められますことを感謝いたします。